

令和6年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 開催日時

令和6年7月9日（火曜日）午後2時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

消防本部3階会議室

3 出席者

- | | | |
|---------|--|---------------------------------------|
| (1) 委員 | 鈴木定夫（委員長）
廣部信隆
澁谷誠幸 | 長瀬正久（副委員長）
松尾せつ子
三原百恵 |
| (2) 事務局 | 消防団長 飯田喜治
次長（事） 予防課長 佐藤俊一
予防課主幹 宮本寛
消防総務課長補佐 田村俊祐
消防総務課主任消防主事 米野井健
消防総務課消防主事 渡邊大和 | 消防長 矢ノ目健二
消防総務課長 松下晃通
警防課長 山口敏郎 |

4 議題

- | | |
|-----|-------------------|
| 議案1 | 令和6年度事務事業進捗状況について |
| 議案2 | 消防概況について |
| 議案3 | その他 |

5 傍聴者

なし

6 会議の公開、非公開について

公開

7 発言の要旨

- 消防総務課長 令和6年度第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議開会を宣言した。
消防委員会条例第5条第4項による会議の成立及び傍聴者の申し出がなかったことを報告した。
- 鈴木委員長 挨拶
事務局 会議の開催にあたり、消防団長及び消防長へ挨拶を求めた。
飯田団長 挨拶
矢ノ目消防長 挨拶
消防総務課長 消防委員会条例第5条第3項の定めにより委員長が議長を務めることを伝えた。
会議録署名人については、申合せにより濫谷委員、廣部委員の2名が任期中は継続する旨を説明した。
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長 議案1 令和6年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
事務局 議案1 令和6年度事務事業進捗状況について、消防予算、職員研修、施設保全、火災予防、救急救命、消防団について説明した。
- 鈴木議長 議案2 消防概況について説明を求めた。
予防課長 最近3か年の火災状況について説明をした。
警防課長 最近3か年の救急出場件数、傷病程度別搬送人員の説明をした。
鈴木議長 各委員に質問を求めた。
長瀬委員 救命講習について伺います。
救命講習の受講者が心肺蘇生法を行い、救命した事案の有無について伺います。
また、資料2ページに救急救命九州研修所への派遣1名との記載がありますが、特別な事情があつて九州の研修所に派遣しているのか併せて伺います。
- 警防課長 救命講習受講者が心肺蘇生法を行い救命した事案ですが、令和5年中は1件ありました。
概要は、令和5年3月20日にアクロスモール新鎌ヶ谷店内で、買い物中に息苦しさを訴え心肺停止状態となった買い物客に対し、家族から助けを求められたアクロスモール新鎌ヶ谷防災センターの警備員3名が連携して、119番通報、AEDの準備、心肺蘇生法、プライバシーの保護を迅速に行ったことにより、傷病者が後遺症もなく社会復帰したというものです。
- 消防総務課長 救急救命九州研修所の研修について説明します。
救急救命九州研修所には指導救命士養成研修のために派遣しています。なぜ、九州の研修所に派遣しているのかと申しますと、指導救命士の養成を行っている研修所が実質九州研修所のみであるためです。
- 三原委員 資料6ページの(1)従業員等消防研修では、どのような研修をしているのでしょうか。
- 予防課長 研修内容は、火災予防に関する知識や各施設に設置されている消防設備等の効果について学んだ後、実際に消火器や屋内消火栓の取扱いを訓練します。また、煙体験ハウスにより、煙の怖さを体験する等の研修も実施しています。
- 廣部委員 鎌ヶ谷消防署改修事業の目的と主な実施内容を教えてください。
また、資料12ページの傷病程度別搬送人員における死亡の33件の内27件が急病となっていますが、主な要因としてはどのようなも

のがあるのでしょうか。

消防総務課長

鎌ヶ谷消防署改修事業の目的と主な実施内容について説明します。

はじめに、鎌ヶ谷消防署改修事業の目的は、感染症流行期においても適切に消防業務が継続できるよう、感染症防止対策の強化及び施設の機能拡充を図るものです。

次に、主な実施内容ですが、既存棟の西側に個室仮眠室及び食堂等を備えた新棟を増築するとともに、既存棟の救急消毒室の拡充や資器材備蓄倉庫を整備するなどの内装改修工事を予定しています。

なお、改修事業は工期の都合上、令和6年度、令和7年度の2か年で実施する継続事業としており、工程としては、新棟の増築完了後に既存棟の改修工事に着手する予定となっています。

警防課長

傷病程度別搬送人員における死亡の33件の内急病の27件についてですが、心原性によるものが大半です。

松尾委員

資料7ページの(6)消防訓練等指導状況で、令和4年度と比較して令和5年度の回数及び参加人数が増えているのはなぜでしょうか。

予防課長

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が第2類から第5類に移行され、訓練時の人数制限や中止していた煙体験ハウスを再開したことにより、実施回数や参加人数が増えたものです。

澁谷委員

消防団について伺います。

全国的に消防団員が減少していると耳にしますが、鎌ヶ谷市消防団の現状について伺います。

警防課長

はじめに、鎌ヶ谷市消防団について説明いたします。

鎌ヶ谷市消防団は、団本部、女性部及び8つの分団で構成され、団本部に団長1名、副団長2名、方面隊長3名、女性部11名及び各分団にそれぞれ20名の配置となっており、合計で177名を条例定数としています。

次に、鎌ヶ谷市消防団の現在の状況ですが、ご指摘のとおり全国的に消防団員の減少が危惧されている中、鎌ヶ谷市においても新入団員の確保に苦慮しているところです。昨年度の退団者は9名おりましたが、新入団員は女性1名を含む5名であり、条例定数より41名少ない136名となっています。

このため、様々な理由により退団したくても退団できない状況で団員の高齢化が進み、分団毎に年齢の格差が生じている状況です。

この対策といたしましては、広報かまがや及び市ホームページ等への消防団員募集記事の掲載、鎌ヶ谷市総合防災訓練や救急フェア等のイベントでの消防団員募集チラシの配布、また、イベント及び訓練等での活動状況を写真に撮り、SNSにアップし、幅広く市民の方に消防団活動のアピールを行い、更なる団員の確保に努めているところです。

長瀬委員

消防団員の配置について伺います。定員は一分団当たり20名であるとのことですが、各分団は市域を面積で均等に分けて配置しているのでしょうか。また、火災の発生が他の地域に比べて多く見込まれる住宅密集地には多く団員を採用するなど地域の状況に応じて定員を変えることはできないのでしょうか。

矢ノ目消防長

分団の配置については地域ごとに行われており、管轄面積は均等ではありません。また、各分団の定数についても条例にて定められており、各地域に居住している方々で各分団を組織しているため、その他

の地域の分団に配置することは難しいと考えます。

長瀬委員 団員が減ってきているとのことなので、そのようなことを言っている場合ではなくなるのではないかと。

また、近年首都直下型地震が発生するような報道もされており、東京ではその地震によって見込まれる帰宅困難者数など被害のシミュレーションを行っているが、鎌ヶ谷市はどのようなのでしょうか。

矢ノ目消防長 本市でもシミュレーションは行っています。消防本部でも本年1月1日に発生した能登半島地震を受けて検討会を開催し、地震発生時の対策強化に向けて次年度以降の予算に計上できるよう検討しています。

長瀬委員 他市との境界付近で火災等が発生した場合、他市から応援を受けることはできるのでしょうか。

矢ノ目消防長 応援協定を結んでいるため可能です。指令業務を共同で行っていることもあり、迅速に対応することが可能となっています。

長瀬委員 最近運用が始まったクーリングシェルターですが、利用にあたり条件等はあるのでしょうか。

矢ノ目消防長 特に条件はございませんが、体調不良となった際に使用するため、お名前や既往歴の記入をお願いしています。

鈴木議長 議案3その他について説明を求めた。

事務局 前回の鎌ヶ谷市消防委員会にて長瀬委員から質問のあった市内上下水道の耐震化率について、委員会終了後に内容を確認して回答済みであること及びその概要について説明した。

鈴木議長 その他連絡事項を求めた。

事務局 令和6年度第2回鎌ヶ谷市消防委員会開催の時期について、令和7年2月上旬の予定であり、詳細については別途連絡することを説明した。

鈴木議長 議事を終了し、令和6年度第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議閉会を宣言した。

8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年7月25日

氏名 澁谷 誠幸

氏名 廣部 信隆